

2015年(平成27年)

11月7日

土曜日

CENTRAL SPORTS

第15回記念 奈良万葉大会

VS

Wakayamakitaboys

IKOMA 中央スポーツ 2015

【一回戦】先制するも逆転許し敗退!

平成二十七年十一月七日、奈良万葉大会の一回戦、和歌山北ボーイズと対戦。生駒中央は、初回に先制点を奪うも、三回に追いつかれ、さらに四回に逆転を許す苦しい展開となった。その後も追加点を許し、そのまま逃げ切れ初戦敗退となった。



名迫

5人をピシヤリの好投!

中盤以降の劣勢を返せず...!

チーム名	一	二	三	四	五	六	七	計	H	B	E
Wakayamakitaboys	0	0	1	2	1	1	0	5	9	5	0
AkamaChuo	1	0	0	0	0	0	0	1	5	2	2



錦織先頭打者安打放つ!

第15回記念奈良万葉大会の一回戦、生駒中央ボーイズは和歌山北ボーイズと対戦。先に守備についた生駒中央の先発は築山が登板。その築山は初回を三人で斬って、その裏の生駒中央の初回の攻撃は一年生ながら実力でレギュラー戦初先発を勝ち取った錦織が先頭打者安打を放ち出塁。すぐさま結果を出すあたり非凡な力を持っている。一年生はうかうかしてられないぞ! 機会を与えられるものではない、奪い取るもの! さあ試合は、その後、江本光がきつちりと送りバントを決めると浦野が四球、さらに岡田の安打で満塁と攻め立てると、五番中田が初球をレフトに犠牲フライを放ち先制点を奪う。最高の試合展開を作った。二回はお互い三者凡退と進展のないまま進み迎えた三回、バントヒットなどで一死一三塁のピンチを迎えた生駒中央にミスが生じた。併殺を狙った内

野陣に失策。ミスにより痛恨の同点。だが、その後は相手送りバントの際にはバッターボックスから足がはみ出すオプストラクション等があり追加点を与えず同点止まり。すぐに突き放したい生駒中央は、その裏二死から浦野が安打で出塁するが後続が続かず無得点に終わった。すると四回、またも生駒中央に守りのミスが生じた。二死ながら二三塁のピンチを迎えると、ここで痛恨の失策: 二者の生還を許し痛い2失点。その後満塁とされるが、ここはマウンドの築山が粘りを見せ追加点を許さなかった。反撃を見せたい生駒中央であったが四回以降、相手投手に抑え込まれ走者を出す事も出来ない。そんな中、五回六回に押出し四球と投手陣が粘れない。しかし、そんな中で六回途中から登板した名迫が後続五人を完全リリーフと奮起。最後の攻撃は先頭の中川が安打で出塁すると坂田も安打で続く。が、走塁ミス。状況を考えた走塁が課題だ。結局点を奪えず1対5で敗退...

生駒中央ボーイズ

打順	位置	打者	一	二	三	四	五	六	七	打数	安打	打点	四死球	三塁打	犠打
①	6	錦織光	左安		捕	飛	二ゴ			3	3	1			2
②	8	江本光	右安		捕	飛		空		3	2				1
③	7	浦野中	右安		捕	飛		中		3	2	1			1
④	39	岡田中	中安		捕	飛		中		3	3	1			1
⑤	9	井中	左飛		捕	飛				0	0	0			1
⑥	5	H	左飛		捕	飛				2	1	1			1
⑦	9	H	空		捕	飛				1	1	1			1
⑧	3	H3	左飛		捕	飛				2	2	1			1
⑨	21	H	左飛		捕	飛				2	2				1
⑩	4	H	左飛		捕	飛				0	0	0			1
⑪	4	H	左飛		捕	飛				1	1	0			1
⑫	4	H	左飛		捕	飛				2	2				1
⑬	4	H	左飛		捕	飛				1	1				1
⑭	9	H	左飛		捕	飛				1	1				1
⑮	9	H	左飛		捕	飛				0	0				0

和歌山北ボーイズ

打順	位置	打者	一	二	三	四	五	六	七	打数	安打	打点	四死球	三塁打	犠打
①	4	中野	右飛		捕	二失	左安	二飛		4	8				2
②	8	西武	右飛		捕	中飛	右安	中飛		3	2	1			1
③	9	西野	右飛		捕	中飛	右安	中飛		3	3	1			1
④	2	西野	右飛		捕	中飛	右安	中飛		0	0	0			1
⑤	1	西福	右飛		捕	中飛	右安	中飛		1	1	1			1
⑥	7	本口	右飛		捕	中飛	右安	中飛		1	1	1			1
⑦	5	西川	右飛		捕	中飛	右安	中飛		2	2	1			1
⑧	3	山口	右飛		捕	中飛	右安	中飛		0	0	0			1
⑨	6	上山	右飛		捕	中飛	右安	中飛		1	1	0			1

【写真】上から ①先頭打者で安打を放つ錦織 ②チャンスを広げる安打を放つ岡田 ③先制の犠牲フライを放った中田 ④三回、安打を放った浦野 ⑤七回、反撃の安打を放った中川

【名言】元気が一番、元気があればなんでもできる。(アントニオ猪木)

Never Give Up 諦めない気持ち